

平成30年度 施政方針 (要旨)

私が市民の皆様から託された市政経営4年間のうち2年が経過し、振り返しとなります。私はこの2年間「小諸に元氣と誇りをとりもどす」ための基本政策として「こもろ未来プロジェクト」を掲げ、実行してきました。これまで進めてきた数々の取り組みにより、小諸に再び「元氣と誇り」が芽生え始めたことを実感しているところです。

これまでの取り組み(一部)

- ▼(一社)こもろ観光局始動
- ▼小諸市エリア高地トレーニング推進協議会を設立
- ▼こもろ映画祭を開催
- ▼日本デザイナー学院が小諸市動物園の動物の擬人化イラスト製作の取り組み
- ▼長野大学・小諸FCとの連携協定に基づく小諸城の3DCG復元の取り組み
- ▼音楽のまち・こもろ作曲コンクールの開催

市政経営を行うにあたって「有るものを活かす・磨く」をキーワードに、これからも小諸市の未来のため、誠実に粘り強く、時には果敢に挑戦していきます。

これからの取り組み

次に、市長公約の「小諸未来プロジェクト」の進捗状況や平成30年度の重点施策等について、「第5次基本構想・第10次基本計画」に基づく政策分野別に説明します。

子育て・教育

▼長期学校改築計画の策定

喫緊の課題である「長期学校改築計画」の策定に向けて、未来に生きる小諸市の子どもたちにとって、より望ましい学校の姿の実現を図るため、計画策定まで皆様との合意形成を図りながら取り組みます。

▼野岸小学校管理棟の完成へ

関係の皆様のご理解のもと工事を進め、平成31年4月1日から使用開始できるよう取り組みます。

▼小諸ふるさと遺産

市内に眠る「お宝」を掘り起こし、未来へつなげていく「小諸ふるさと遺産」として認定・登録する仕組みを設けます。

環境

▼省エネルギーや再生可能エネルギーの普及

昨年策定した「小諸市事業用太陽光発電施設に係るガイドライン」を適切に運用するとともに、自然環境や景観などと調和した質の高い再生可能エネルギーの利用を進めます。

健康福祉

▼健康管理支援の充実

高齢化率が31%を超えるなか、フレイル(虚弱)の要因である低栄養などにならないよう予防事業に取り組みます。

産業・交流

▼新たな産業団地造成

候補地の選定を進めるとともに、地域未来投資促進法に基づき、建物に関わる固定資産税を3年間免除することとし、企業立地の推進に向けた環境整備を図ります。

▼住宅開発支援

利便性の高い市内東南部地区を中心に具体的な検討を行います。検討に当たっては、産業団地を始め商業施設などの用途も想定しながら検討します。まずは、民間の宅地開発を誘発すべく、谷地原区内にある市有地への社会資本整備を行います。また、市営住宅北囀団地跡地等の市有地も含め、売却していきます。

▼小諸の農のブランド

農家の収入確保・増加を目的とした、小諸の農のブランドの確立のため、「小諸アグリシフトプロジェクト」を継続して取り組むとともに、個々の農産物のブランド商品化や6次産業化を推進します。